週刊日本株レポート（11/16～11/20） ～ AI関連を巡る不透明感は根強いものの、AI開発企業のIPOや堅調な国内企業業績が支えとなり、緩やかな上昇 ～

2026年11月16日作成

1. 日米株式と円／ドルの推移

＜日本株（日経平均）＞



＜米国株（NYダウ）＞



＜円/ドル＞



（注）チャートは過去1年

	単位	2025/12/31（前年末）	2026/10/30（前月末）	2026/11/13（前週末）	過去3年高値 水準	過去3年高値 日付	過去3年安値 水準	過去3年安値 日付
日経平均	円	50,339.48	63,290.11	61,142.35	72,831.73	2026/6/22	30,792.74	2025/4/7
NYダウ	ﾄﾞﾙ	48,063.29	51,770.31	52,347.55	54,744.33	2026/8/5	34,818.03	2023/11/16
円/ﾄﾞﾙ	円	156.71	157.56	159.71	163.99	2026/7/23	139.58	2024/9/16

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り ～ AI・半導体関連銘柄への買い戻しと、好業績銘柄の物色の広がりから上昇 ～

先週の日本株市場は、日経平均が+3,707.58円（+6.46%）、TOPIXが+233.58ポイント（+6.30%）となりました。AI・半導体関連銘柄の買い戻しと、好業績銘柄への物色の広がりから上昇しました。業種別では、繊維製品、建設業、銀行業、化学、卸売業など全業種が上昇しました。

先々週末に米国のAI規制強化への懸念から大幅下落した日本株市場は、６日に半導体関連銘柄で構成される米SOX（フィラデルフィア半導体株）指数が大幅上昇したことを受け、９日から10日にかけて国内のAI・半導体関連銘柄にも買い戻しの動きが広がり、大幅に反発しました。11日は、業績が好調な銀行や商社など、AI関連以外の銘柄にも物色が広がり、３日続伸となりました。12日は、エヌビディアのファンCEO（最高経営責任者）解任を巡る報道を受け、AI・半導体関連銘柄に売りが広がりました。一方、相対的に割安感が高まっていた内需関連銘柄が買われ、相場を下支えしたことから、４日続伸となりました。13日は、前日の米国株市場がエヌビディアCEOの辞任を受けて軟調な展開となったものの、為替の円安進行などが好感され、5日続伸で引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
11月16日	Mon	日本	GDP（国内総生産）速報値（前期比年率）	7-9月期	+1.4%
		中国	鉱工業生産（年初来/前年比）	10月	+5.3%
			小売売上高（年初来/前年比）	10月	+1.1%
		米国	ニューヨーク連銀製造業景気指数	11月	25.5
11月17日	Tue	日本	第3次産業活動指数（前月比）	9月	▲0.1%
		ドイツ	ZEW期待指数	11月	28.1
		米国	小売売上高（除自動車/前月比）	10月	+0.9%
			鉱工業生産（前月比）	10月	+0.7%
11月18日	Wed	日本	貿易収支	10月	▲5,565億円
		米国	住宅着工件数	10月	+122.1万件
			FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨公表（10月27、28日開催分）		
11月19日	Thu	日本	機械受注（船舶・電力を除く民需）（前月比）	9月	+5.2%
		米国	フィラデルフィア連銀製造業景況指数	11月	20.9
			景気先行指標総合指数	10月	0.0%
			米アンソロピック、ナスダック市場に上場予定		
11月20日	Fri	日本	CPI（全国消費者物価指数）（除生鮮/前年比）	10月	+2.1%

決算発表予定 他	国内	決算発表	11/16 電通ｸﾞﾙｰﾌﾟ 11/19 東京海上HD、MS&ADインシュアランスｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ、SOMPOホールﾃﾞｨﾝｸﾞｽ
決算発表予定 他	海外	決算発表	11/17 ホーム・ﾃﾞﾎﾟ、ウォルト・ﾃﾞｨｽﾞﾆｰ、JDﾄﾞｯﾄｺﾑ、エヌﾋﾞﾃﾞｨｱ 11/18 テンセント、ﾀｰｹﾞｯﾄ、ﾊﾟﾛｱﾙﾄﾈｯﾄﾜｰｸｽ 11/19 ﾚﾉﾎﾞ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ、アリﾊﾞﾊﾞ、ウォルマート、インテュイット

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し ～ AI関連を巡る不透明感は根強いものの、AI開発企業のIPOや堅調な国内企業業績が支えとなり、緩やかな上昇 ～

今週の日本株市場は、AI関連を巡る不透明感は根強いものの、AI開発企業のIPO（新規株式公開）や堅調な国内企業業績が支えとなり、緩やかな上昇を見込みます。

本日（16日）の日本株市場は、先週末の米ハイテク株安を受け、AI・半導体関連銘柄を中心に下落しています。ウォラーFRB（米連邦準備理事会）理事の発言やCPIが市場予想を上回ったことなどから、12月FOMC（米連邦公開市場委員会）での0.5%利上げ観測が強まりました。13日発表のPPI（生産者物価指数）が市場予想を下回ったことで利上げの繰り込みはやや後退しましたが、今後も利上げ観測が意識されれば、株価の上値を抑える要因となるとみ3ます。また、17日にはエヌビディアの決算発表が予定されています。CEOを巡る報道で不透明感が高まる中、決算内容が市場予想を下回れば、株価の重荷となる可能性があります。一方、19日にはAI開発企業アンソロピックのIPOが予定されています。事前報道では募集株数を上回る応募が集まっており、IPO後もAI企業への強い投資需要が確認されれば、AIデータセンターへの巨額投資や関連する信用リスクへの懸念が和らぐ可能性があります。また、これまでに発表された国内企業の7-9月期決算は、2桁増益を維持しています。AI・半導体関連銘柄から非AI銘柄への物色の広がりが続けば、TOPIX全体の下支えになるとみています。その他の注目材料として、日本では18日の貿易収支と20日のCPI、米国では17日の小売売上高と18日のFOMC議事要旨の公表などが挙げられます。

ALAMCO 朝日ライフ アセットマネジメント
URL：https://www.alamco.co.jp
商号等 ：朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第301号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。